

「日加法政セミナー2012」報告

2012年8月31日、新潟大学法学会の主催により「日加法政セミナー2012：行政の不作为と司法府」が開催された。本セミナーは、新潟大学法学部が、学術交流協定を締結しているカナダ・アルバータ大学法学部の協力を得て、毎年実施してきた日加学術交流事業の一環である。

今回のセミナーには、アルバータ大学法学部よりピーター・サンコフ（Peter Sankoff）教授（刑事法・動物法専攻）をゲスト・スピーカーとして招聘した。また、日本側の報告者として今本啓介・新潟大学法学部准教授（行政法専攻）を立てた。セミナーは、上記のテーマに関する両氏の報告を受けた後、質疑討論を行うというかたちで進められた。

以下、セミナー・プログラムを示した後、①サンコフ報告のベースである同教授の論稿、②今本報告、③実施責任者によるコメントを掲載し、本セミナーの報告としたい。

PDG（カナダ研究開発プログラム助成事業）実施責任者 成嶋 隆

日加法政セミナー2012：行政の不作为と司法府
Japan-Canada Law and Politics Seminar 2012:
Administrative Inaction and the Judiciary

- 日時： 2012年8月31日（金）18時00分～20時00分
- 会場： 新潟大学五十嵐キャンパス人文社会科学系棟F棟5階大会議室
- 主催： 新潟大学法学会

■ 報告1 Presentation 1

“The Failure to Enforce the Criminal Law: Consequences for Social Discourse”

（「刑事法の不執行：その社会的討議への影響」）

Peter Sankoff, Professor, Faculty of Law, University of Alberta

（アルバータ大学法学部教授 ピーター・サンコフ）

■ 報告2 Presentation 2

「行政の不作为に対する司法的統制」

（“Judicial Control of Administrative Inaction”）

新潟大学法学部准教授 今本 啓介

（Keisuke Imamoto, Associate Professor, Faculty of Law, Niigata University）

■ 通訳 Interpreter

新潟大学大学院実務法学研究科教授 駒宮 史博

（Fumihito Komamiya, Professor, Niigata Graduate School of Legal Practice）

■ 司会 Chair

新潟大学大学院実務法学研究科教授 成嶋 隆

（Takashi Narushima, Professor, Niigata Graduate School of Legal Practice）